



波多江小学校 第135回卒業証書授与式

3月17日（火）、天気にも恵まれ、令和7年度糸島市立波多江小学校第135回卒業証書授与式を無事に挙行することができました。

本年度の卒業生115名が、波多江小全ての教職員、保護者、地域の皆様方に祝福され、見守られての卒業でした。

限られた練習時間の中での本番でしたが、卒業生のみんなは、節度と気迫をもって乗り越えてくれました。本当に立派な姿でした。

卒業しても、波多江小で大切にしてきた「目標をもち。仲間と協力し合い、最後までやりぬく」波多江っ子の姿勢を大切にしながら、自らの進路を切り拓く中学校の3年間に挑戦して欲しいと思います。

元気に、楽しく、体を大切に、進んで行ってください。

また、「5年生」も卒業式の送る側の主役として頑張ってくれました。

出番がなかなかない中での参加でしたが、姿勢をただし、じっと集中して式に参加することができました。「送る言葉」も声に気持ちが込められていて、素晴らしい発表でした。

「一年後は、あの場にわたしたちがいる。」「来年のわたしたちの悔いのない式におけて」という意欲と見通しにつながる式になったのではないかと思います。

式に参列いただきました、御来賓（区長会・PTA・学校運営協議会）の皆様、また、交通誘導をしていただきました、交通安全協会波多江支部の皆様、体育館前の花壇の装飾をしていただいたPTA役員の方々、本当にありがとうございました。お礼と御紹介をさせていただきます。

「背中をおしてくれた6年生」 5年

在校生代表として出席した卒業式、きんちょうと来年の自分の姿を想像しながら6年生を見守っていました。6年生の呼びかけや歌などを見ていると、来年に向けて「がんばってね！」と背中をおされているようでした。

「初めての卒業式」 5年

小学校の全てを終えた、たくましい姿を見ることができ、来年は自分達がやるんだと、責任を感じることができました。卒業式での6年生は練習とはちょっとちがったところを見ることができて、やっぱりすごいなと思いました。

「今までありがとう」 5年

わたしは6年生の姿を見て、これから自分たちがこの波多江小学校の最上級生として下級生を引っばっていかねばならないという気持ちが高まりました。また、卒業式では、今までありがとう、卒業おめでとうという気持ちで参加することができました。

「6年生の姿を見て…」 5年

ぼくは、卒業式に参加し、6年生の姿を見て、こんな6年生になれたらいいなと思いました。なぜかという「〇〇さん」などと呼ばれたときに、大きな声で「はい！」と言ったり、最上級生らしい堂々とした態度だったからです。

6年生が来ない波多江小は少し寂しいですが、「寂しさは新しい希望へのカタチ」として、学校も家庭も、地域も、それぞれが、新しいスタートに備えていきたいと思えます。4月から、卒業生は、「新入生」としての新しい生活がスタートします。

期待や不安があるとは思いますが、自分の心と体を大切にしながら、一步一步進んで欲しいと思えます。

卒業式

文科省教育課程特例の不実施の連絡とお詫び

すでに保護者の皆様には、教育委員会からのお詫びの文書を配付させていただきましたが、令和8年度から文科省指定での新しい教育課程のスタートに向けて、学校内の準備や学校運営協議会での説明と承認、保護者・地域への説明をおこなってまいりました。

2月の下旬に、突然の指定が取れないことがわかり、令和8年度への準備を修正して進めているところです。

地域・保護者の皆様には、指定のスタートに向けて期待が高まっていたところを、予想外の状況になってしまいましたこと、心よりお詫びします。大変申し訳ありませんでした。

今後は、例年通りの教育課程ではありますが、内容の充実をめざしながら、また、変更点等があるときは、保護者・地域の皆様に説明と確認を大切に進めながら、進めていきたいと考えています。今後とも、「子どもたちの主体性の発揮」と「学校・地域連携の充実」「教員の指導力の向上」に向けて、学校職員一同、力を合わせて前進していきます。よろしくお願ひします。

危ない！！交通事故に注意をお願いします

3月13日（金）に糸島市警察署交通課から児童生徒の自転車事故が増加しているという指導を受けた内容について、糸島市全ての小中学校で周知と確認がありました。

【糸島警察署からの指導事項】

○通学時に限らず、自転車を運転する際は、自転車安全利用五則を参考にし、「**車道が原則、左側通行 歩道は例外、歩行者を優先**」

「**交差点では一時停止を守って、安全確認**」「**夜間はライトを点灯**」

「**ヘルメットを着用**」の具体的な指導を徹底すること

※3月16日（月）に**全クラスで指導をしています。**

○ **特に交差点の飛び出しによる事故が多いため、交差点への侵入前で必ず一旦停止し、左右の安全を十分確認してからゆっくり交差点に進入すること。**

○ **ヘルメットの着用**をより一層推進すること。

○ **万が一、交通事故等にあった（起こした）場合は、直ちに大人（保護者、警察、学校）に報告すること。**です。



※実際に、糸島市内でも、子ども運転の自転車が歩行者にぶつかった案件や、学校敷地内で、車が子どもに接触した事案が報告されてます。

…どんなに軽微なものであっても、接触した場合は、「交通事故」として、（大人・学校等を経由してでも…）警察に報告していただきますようお願いいたします。

※また、学校内は子どもたちが過ごしており、学習活動、休み時間活動、登校下校等あり、車での進入は大変危険を伴うものでもあります。あらためて、お子様の登下校における学校送迎については、体育館側からの進入を必ず守っていただくとともに、十分に運転とスピードに気をつけていただき最徐行進入での協力をお願いします。



学期末の大変あわただしい状況の中で、「連休や春休み」と交通量も多くなるのではないかと予想されます。

歩行者の交通安全については今後も「**止まる・見る・待つ**」の合言葉を大切にいただき、命を守る行動を指導していきます。

上記指導事項を確実に御確認いただき、子どもたちの安全・安心の3月～4月の生活における御理解・御協力をよろしくお願ひします。